

授業科目	* 相談援助演習Ⅱ				単位	1		
履修	必修	関連資格	社会福祉士 保育士		ナンバリング	WE21224J		
開講年次	2年	開講時期	前期	該当DP	DP1-1 DP1-2 DP2-1 DP2-2 DP3-1 DP3-2 DP4-2 DP4-3 DP5-1 DP5-2			
担当教員	納戸 美佐子、荒木 剛、岡田 和敏、文屋 典子、通山 久仁子							
授業概要	本演習では、ロールプレイやグループ討議を用いて、相談援助専門職に求められる価値・知識・技術、実践の原則について学ぶ。また、利用者の生活状況や福祉的課題を包括的に理解する視点と支援方法について相談援助事例をもとに考えていく。							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 相談援助の展開過程における課題と留意点を理解し、相談援助に係る知識と技術を活用できる。</li> <li>2. 相談援助の専門職として求められる価値・実践の原則について理解し、活用できる。</li> <li>3. 利用者の生活状況や福祉的課題を包括的に理解する視点と支援方法について理解し、活用できる。</li> </ol>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	0	30	20	50	100	
知識・理解 (DP1-1)				10			10	
知識・理解 (DP1-2)				10			10	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)				5			5	
思考・判断 (DP2-2)				5			5	
関心・意欲 (DP3-1)					10		10	
関心・意欲 (DP3-2)					10		10	
態度 (DP4-1)								
態度 (DP4-2)						10	10	
態度 (DP4-3)						10	10	
技能・表現 (DP5-1)						15	15	
技能・表現 (DP5-2)						15	15	
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
具体的な相談援助事例に取り組むことにより、相談援助の視点、相談援助の専門職として求められる価値・実践の原則、相談援助の展開過程における課題と留意点および相談援助に係る知識と技術を理解し、活用することが出来る。				具体的な相談援助事例に取り組むことにより、相談援助の視点、相談援助の専門職として求められる価値・実践の原則、相談援助の展開過程における課題と留意点および相談援助に係る知識と技術を理解することが出来る。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)
1	オリエンテーション 授業の概要について説明する。授業の目的、達成の			講義		なし		0

	目安、評価の内容と方法を理解する。			
2	相談援助の視点 相談援助専門職の基本姿勢および援助場面における原則について学び、実践する。社会福祉士の倫理綱領について学ぶ。	講義、グループワーク	該当部分の復習	30
3	相談援助における面接技術(1) 基本的コミュニケーションや言語的コミュニケーションおよび非言語的コミュニケーションについて学び、実践する。	講義、ロールプレイ	該当部分の復習	30
4	相談援助における面接技術(2) 面接における基本的応答技法(内容の反射に関するものなど)について学び、実践する。	講義、ロールプレイ	該当部分の復習	30
5	相談援助における面接技術(3) 面接における基本的応答技法(感情の反射に関するものなど)について学び、実践する。	講義、ロールプレイ	該当部分の復習	30
6	相談援助における面接技術(4) 面接における基本的応答技法(適切な質問、情緒的な指示、アイメッセージなど)について学び、実践する。	講義、ロールプレイ	該当部分の復習	30
7	相談援助における面接技術(5) 面接における基本的応答技法の活用の仕方について学び、実践する。	講義、ロールプレイ、グループワーク	該当部分の復習	30
8	インテーク 事例を用いて、インテークにおける面接技法について学び、実践する。また、相談援助における相談援助関係について学ぶ。	講義、グループワーク	該当部分の復習	30
9	アセスメント 事例を用いて、アセスメントにおける情報収集、援助関係形成の原則、ニーズの明確化について学び、実践する。	講義、グループワーク	該当部分の復習	30
10	プランニング 事例を用いて、プランニングにおける援助・支援目標の設定方法について学び、実践する。	講義、グループワーク	該当部分の復習	30
11	支援の実施とモニタリング 事例を用いて、支援の実施およびモニタリングについて理解を深め、多角的な介入の視点を考察する。	講義、グループワーク	該当部分の復習	30
12	評価と終結 事例を用いて、効果測定の方法について学ぶ。また、終結までの過程とアフターケアについて学び、実践する。	講義、グループワーク	該当部分の復習	30
13	相談援助における記録(1) 相談援助における記録の定義・目的・種類・文体について学び、実践する。	講義、グループワーク	該当部分の復習	30
14	相談援助における記録(2) 相談援助における記録の留意点および記録の課題について学び、実践する。	講義、グループワーク	該当部分の復習	30
15	まとめ 相談援助演習2で学んだ内容から重点項目を解説する。	講義	なし	30
16				
17				

18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	これまでの講義や演習を通して学んだ基本的なコミュニケーション技法について復習する。			
テキスト	授業内において、課題に応じた資料を配布する。			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	授業内において指示する。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	本演習で学んだ内容を復習し、相談援助実習などで活用出来るようにして下さい。			
達成度評価に関するコメント	レポート以外の提出物については、授業の中で説明する。また、その他(参加意欲、演習時の受講態度、グループワークやロールプレイにおける発言・発言内容、リーダーシップ、態度、姿勢、協力度)で評価します。詳細は、授業内で提示します。			